

ナシ黒星病に対する梅雨期以降の「豊水」果実の感受性

福島県農業総合センター 果樹研究所 病害虫科

1 部門名

果樹－ナシ－病害虫防除

2 担当者名

藤田剛輝、小松健太郎

3 要旨

「幸水」では、ナシ黒星病に対する果実の感受性が梅雨期（満開後 50～90 日頃）に高まるが、「豊水」果実の感受性の推移が不明である。そこで、接種試験により調査したところ、梅雨期以降の「豊水」果実の感受性はいずれの時期も「幸水」より低く、7 月下旬以降の接種では発病が認められなかった。

- (1) 2021 年の時期別接種試験による発病果率は、6 月 23 日～7 月 5 日接種区で「幸水」（満開後 69～81 日）は高かったのに対し、「豊水」（満開後 74～86 日）は低く推移した（図 1）。
- (2) 2022 年の時期別接種試験による発病果率は、6 月 21 日～7 月 11 日接種区で「幸水」（満開後 61～81 日）は高かったのに対し、「豊水」（満開後 64～84 日）は低く推移した（図 2）。
- (3) 両年ともに、「豊水」満開後 99 日以降（平年 7 月 30 日以降）の感受性は極めて低かった（図 1、図 2）。

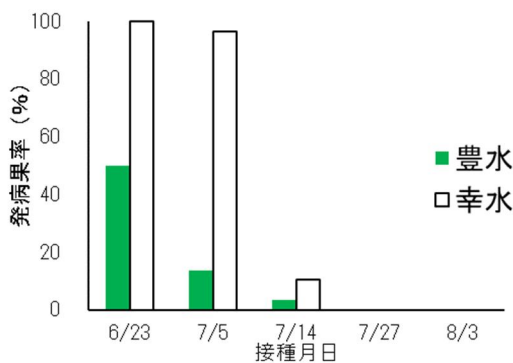


図 1 黒星病に対する果実感受性の推移（2021 年）

※発病調査は、「幸水」は 8/16～8/17、「豊水」は 9/9 に実施。

※「豊水」満開後 99 日は 7/20。

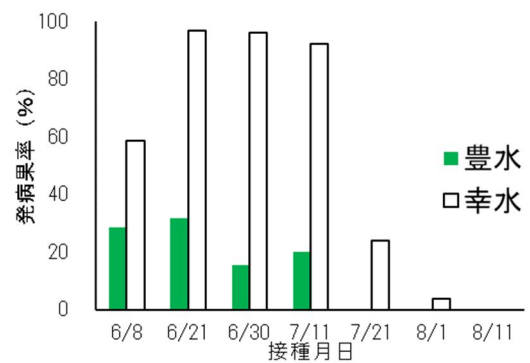


図 2 黒星病に対する果実感受性の推移（2022 年）

※発病調査は、「幸水」は 8/19、「豊水」は 9/8 に実施。

※「豊水」満開後 99 日は 7/26。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和 3～7 年度
- (2) 研究課題名 重要な病害虫に対する防除技術の確立

5 主な参考文献・資料

- (1) 梅本清作, ニホンナシ黒星病の発生生態と防除に関する研究, 千葉県農業試験場特別報告, p. 44～45, 1993.